キャラクター名: ルーン＆リュウト

プレイヤー名:

シンドローム	オルクス オルクス	ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	イリーガル
オプショナル		年齢	不明	性別	男
覚醒	忘却	衝動	飢餓	初期侵食率	31 %
出自	使命	経験	記憶喪失	邂逅	借り

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	2	0	0			2
精神	2	1	3			6
社会	4	0	0			4

HP	28
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	15
全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
”半龍の宿主”加賀 リュウト	P 信頼	N 恐怖		
夢に出てくるあいつ	P 誠意	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
支配の因子	1							
効果：								
束縛の領域	★	5	オート	至近	自身	効果参照	80↑	
効果：あなたから「射程：視界」に存在するキャラクターが攻撃の判定を行った直後に使用する。その攻撃の判定の達成値を難易度として、このエフェクトを組み合わせた判定を行なう。成功した場合、その攻撃は失敗となる。このエフェクトは「タイミング：リアクションのエフェクトを組み合わせることができ、1シーンに1回まで使用できる。」								
妖精の手	1	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果：								
隆起する大地	1	2	オート	至近	範囲（選択）	自動	-	
効果：								
絶望の領域	1							
効果：								
棘の縛め	1							
効果：								
地獄耳	★	-	メジャー	-	自身	自動成功	-	
効果：								
不可視の領域	1	-	メジャー	-	効果参照	自動成功	-	
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

非オーヴァードの少年、加賀 リュウト（隆斗）の身に宿る協力型レネゲイドビーイング『ルーン』。

元々は”結界の白龍”の異名を持っていたルーンだったがFHの実験体として捕らえられ、実験の結果肉体を失ってしまった。そのことに関しては自分で擬似的な肉体を構成することが可能な為大きな問題ではなかったが実験の後遺症として完全な睡眠が必要となってしまい、睡眠するためには人間の宿主の精神に入らなくてはならないが睡眠中は完全に無警戒状態となり外部からの刺激を受けても目が覚めなくなってしまう（宿主の呼びかけで起きることは可能）。また睡眠中は宿主が意識を奪い力を吸収することが可能（つまりルーン消滅）となってしまう。さらに睡眠は最低でも一週間に一度も取らない場合でも存在が消滅してしまう。

FHの実験体にされたこともあり人間不信に陥っていたルーンはFHから逃げ出した後徐々に弱り意識も消えかけていたところテレーゼ・ブルムに助けられ消滅まで数日の猶予を得る。消滅を覚悟して最後の数日を生きていたルーンだがその時ルーンと同じように死が目前に迫っていた少年、リュウトと出会う。信頼できる宿主が必要なルーンと生き延びるために魔法のような力が必要だったリュウト。その二人は互いに手を取り合い、その日から二人で一つの存在となった。

”眠りの半龍（スリーピングドラゴン）”ルーン　：　協力型レネゲイドビーイング
”半龍の宿主（ドラゴンホルダー）”加賀 リュウト　：ルーンを宿した非オーヴァード。ルーンの力で生命を維持しておりその副作用としてワーディングの対象にはならず、さらにある程度ならレネゲイドの力を感知することも可能。

使用ルールブック：基本①②　　あぁぁぁぁぁぁぁあぁぁあぁエフェクトが迷走するんじゃぁぁあぁぁぁぁ